

Fujitsu Software

Interstage Information Integrator Standard Edition V11a (V11.3.3)

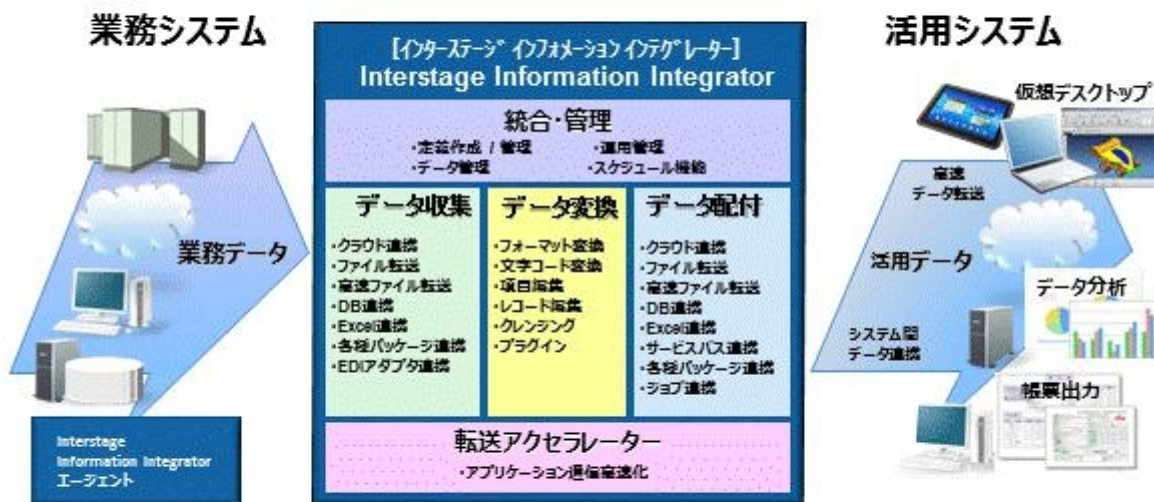
Interstage Information Integrator エージェント V11a (V11.3.3)

Interstage Information Integrator Standard Edition は、業務システムで発生した多様なデータを収集・統合し、必要なときに必要な形で利用者に配付するデータ収集・統合管理ソフトウェアです。競争の激化、リスク管理への取り組み、IT社会の進展など、企業を取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。その中で、コストを削減し、利益を拡大していくために、情報活用への要件は、より広範囲に、より早く、より正確にと、高度になってきています。

Interstage Information Integrator Standard Edition は、様々なシステムから収集したデータを、利用者のニーズの変化に合わせて柔軟に変換・配付することができます。

また、データの収集・変換・配付の処理定義や、運用管理情報を統合・管理することにより、様々な情報システムに「価値ある情報」をタイムリーに提供します。

Interstage Information Integrator エージェントは、Interstage Information Integrator Standard Edition V11aの連携先業務システムにおけるデータの収集・配付処理の構築・運用を支援します。



- **Interstage Information Integrator Standard Edition サーバ**

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **Interstage Information Integrator エージェント**

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **運用管理クライアント機能**

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / FMV / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **定義クライアント機能**

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / FMV / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **転送アクセラレーター機能**

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **転送アクセラレーターのゲートウェイ機能(他プラットフォームについては留意事項参照)**

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **転送アクセラレーターのクライアント機能**

FMV / マルチベンダーサーバ・クライアント / スマートデバイス(留意事項参照)

- **Interstage Information Integrator Standard Edition サーバ**

Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

- **Interstage Information Integrator エージェント**

Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

- **運用管理クライアント機能**

Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows 8.1(64-bit) / Windows 8.1 / Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

- **定義クライアント機能**

Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows 8.1(64-bit) / Windows 8.1 / Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

- **転送アクセラレーター機能**

Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

- **転送アクセラレーターのゲートウェイ機能(他プラットフォームについては留意事項参照)**

Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

- **転送アクセラレーターのクライアント機能**

Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows 8.1(64-bit) / Windows 8.1 / スマートデバイス用OS(留意事項参照)

1. 用語の説明

- ・ Interstage Information Integrator サーバ

Interstage Information Integratorを利用するためのサーバ機能です。収集、変換、配付の一連の処理を行います。

- ・ Interstage Information Integrator エージェント

連携先のシステムで動作し、データの変換・収集を支援するInterstage Information Integratorのオプション製品の機能です。

- ・ 運用管理クライアント機能

Webブラウザを使用して、業務の実行に関する操作や運用状況の監視を行う機能です。

- ・ 定義クライアント機能

デザインシートや定義作成/管理GUIを使用して、定義を作成、登録するための機能です。

- ・ 転送アクセラレーター機能

TCPアプリケーション通信の高速化を行う転送アクセラレーターのサーバ機能です。

- ・ 転送アクセラレーターのクライアント機能

転送アクセラレーター機能をインストールしたサーバと接続し、クライアントアプリケーションの通信を高速化する機能です。クライアントアプリケーションが動作する機器に導入します。

- ・ 転送アクセラレーターのゲートウェイ機能

転送アクセラレーター機能をインストールしたサーバと接続し、クライアントアプリケーションの通信を高速化する機能です。クライアントアプリケーションが動作する機器と転送アクセラレーター機能が動作するサーバとの間でゲートウェイとなるサーバに導入します。

2. 収集 / 配付

業務システムを変更せず、データを収集 / 配付します。

メインフレームや他社機、クラウドと連携するための豊富な連携・転送プロトコルを用意しています。

【Interstage Information Integrator Standard Edition】

- ・ DB連携 (Symfoware、Oracle、SQL Server、DB2、PostgreSQL)

データベースからの全件抽出・条件抽出およびデータベースへのデータ置換、追加、更新が可能です。

- ・ 高速ファイル転送

WAN帯域を最大限利用することにより、遠隔地との間で高速にデータ収集・配付が可能です。

帯域100MbpsでのFTPとの転送速度比：従来の5～14倍（当社調べ）

- ・ ファイル転送

多重度制御、自動リトライ、圧縮・解凍、同報配信、集約配信が可能です。

転送プロトコル：FTP、FTP+、HICS、HULFT、SAN、HTTP、HTTPS

- ・ ジョブ起動

データ配付後に、配付されたデータを処理するジョブを起動します。また、起動されたジョブから通知された結果を管理することができます。

- ・ クラウド連携

クラウドプラットフォームとのデータ連携が可能です。

クラウド：FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure、Microsoft Azure、Salesforce.com

- ・ Excel連携

Excel形式の業務データから必要なデータだけを収集し、集計レポートを作成・表示することができます。

- ・ サービスバス連携 (Interstage Service Integrator)

Interstage Information Integrator Standard EditionとInterstage Service Integratorとの間で、ノンプログラミングでデータの受け渡しが可能です。

- ・各ソフトウェア製品との連携
業務パッケージへ配付するためのデータ収集のテンプレート提供

- SAP
- GLOVIA

データ配付のテンプレート提供

- Interstage Navigator Server(BIソフトウェア)
- Interstage List Creator(帳票設計・生成ソフトウェア)

EDIアダプタ連携

- ACMS EDI-BASE (流通BMSの通信プロトコルをサポートした製品)

【Interstage Information Integrator エージェント】

- ・DB連携 (Symfoware、Oracle、SQL Server、DB2、PostgreSQL)
データベースからの全件抽出・条件抽出およびデータベースへのデータ置換、追加、更新が可能です。

- ・ファイル転送

多重度制御、自動リトライ、圧縮・解凍、同報配信、集約配信が可能です。

転送プロトコル：FTP+

- ・ジョブ起動

データ配付後に、配付されたデータを処理するジョブを起動します。また、起動されたジョブから通知された結果を管理することができます。

- ・Excel連携

Excel形式の業務データから必要なデータだけを収集し、集計レポートを作成・表示することができます。

3. 転送アクセラレーター機能

業務システムを変更せず、データ転送を高速化する機能を提供します。

【Interstage Information Integrator Standard Edition】

- ・アプリケーション通信高速化

TCP/IPインタフェースのアプリケーション間のプロキシとして利用することにより、通信距離・回線品質による遅延を解消し、アプリケーションの通信を高速化します。

ネットワーク特性とアプリケーション特性を計測し、最良の性能を発揮するプロトコルを高速に推定し使用するプロトコルを自動選択します。

さらに一度送信したデータを送信側と受信側の双方で保存しておき、二度目からは同じデータを送らない技術（重複除去）や、ファイル圧縮などに使われているデータの圧縮技術（データ圧縮）によりデータ転送量を削減し、通信の高速化を行います。

- ・転送アクセラレーターのクライアント機能

WindowsPCおよびスマートデバイスのアプリケーションとInterstage Information Integrator Standard Editionを導入したサーバのアプリケーションとの間で高速な通信ができます。

- ・転送アクセラレーターのゲートウェイ機能

WindowsPCおよびスマートデバイスのアプリケーションの通信をゲートウェイとして中継し、Interstage Information Integrator Standard Editionを導入したサーバのアプリケーションとの間で高速な通信を行います。

本機能を利用することで、クライアントアプリケーションが動作する機器(WindowsPCおよびスマートデバイス)に転送アクセラレーターのクライアント機能を導入しなくても、アプリケーションの通信を高速化できます。

- ・帯域制御

定期的に通信回線の状態を確認し動的に帯域制限を行います。この機能により、他の通信業務への影響を最小限に抑えつつ効率的に回線を活用することができます。

4. 変換

【Interstage Information Integrator Standard Edition / Interstage Information Integrator エージェント】

形式や表記が不揃いな業務データを、情報として活用できる形式に変換します。

- ・フォーマット変換
バイナリファイル、CSVファイルの相互フォーマット変換が可能です。
- ・項目編集
項目選択、項目並び替え、項目結合・分割が可能です。
- ・文字コード変換
EBCDIC、SJIS、EUC、JEF、Unicodeの相互文字コード変換をサポートしています。
IBM日本語文字セットからの文字コード変換も可能です。
- ・レコード編集
条件抽出、ソート、ジョイン、集計が可能です。
- ・クレンジング
データ表記の統一や、マスターコードとの比較による置換えが可能です。

5. 統合・管理

【Interstage Information Integrator Standard Edition】

統合・管理として、以下の機能を提供します。

- ・定義クライアント機能
 - 収集 / 配付、変換、振分など処理の流れを把握できるGUIやデザインシート（データ処理の設計書）を使って、データ収集、データ変換、データ配付、スケジュールなどを定義登録します。
 - 適用モデル毎の構築手順に沿った定義画面やパラメタだけを画面に表示し、利用しない機能に関する画面やパラメタを意識せずに定義を作成することができます。
 - Interstage Service Integratorとの接続のための定義作成/管理が可能です。
 - 業務システムに導入したInterstage Information Integrator エージェントの定義作成/管理が可能です。
- ・データ管理
 - 複数の収集データを一時的に保存・管理することで、処理するデータの単位や時間帯、エラー時のリカバリ方法など運用ルールが異なるシステムとも、システムの運用に影響を与えることなく連携することができます。
 - 保存したデータをバックアップ、リカバリすることにより、業務再開のためのチェックポイントとして利用することができます。
- ・運用管理クライアント機能
 - Interstage Information Integratorの収集、変換、配付などの業務実行に関する操作や、運用状況の監視などを、GUIを使って行うことができます。
 - また、Interstage Service Integratorと連携する業務の実行操作や運用状況の監視をGUIを使って行うことができます。
 - さらに、業務システムに導入したInterstage Information Integrator エージェントの実行操作や運用状況の監視をGUIを使って行うことができます。
- ・スケジュール機能
 - 定義したスケジュールにもとづく業務の実行が可能です。
- ・リソース使用状況監視

Interstage Information Integratorが使用する管理領域（管理DB領域）の使用状況を自動で監視することができます。管理DB領域の使用量がしきい値に達した場合に、アラートを通知します。

6. Interstage Information Integratorの機能と商品の対応

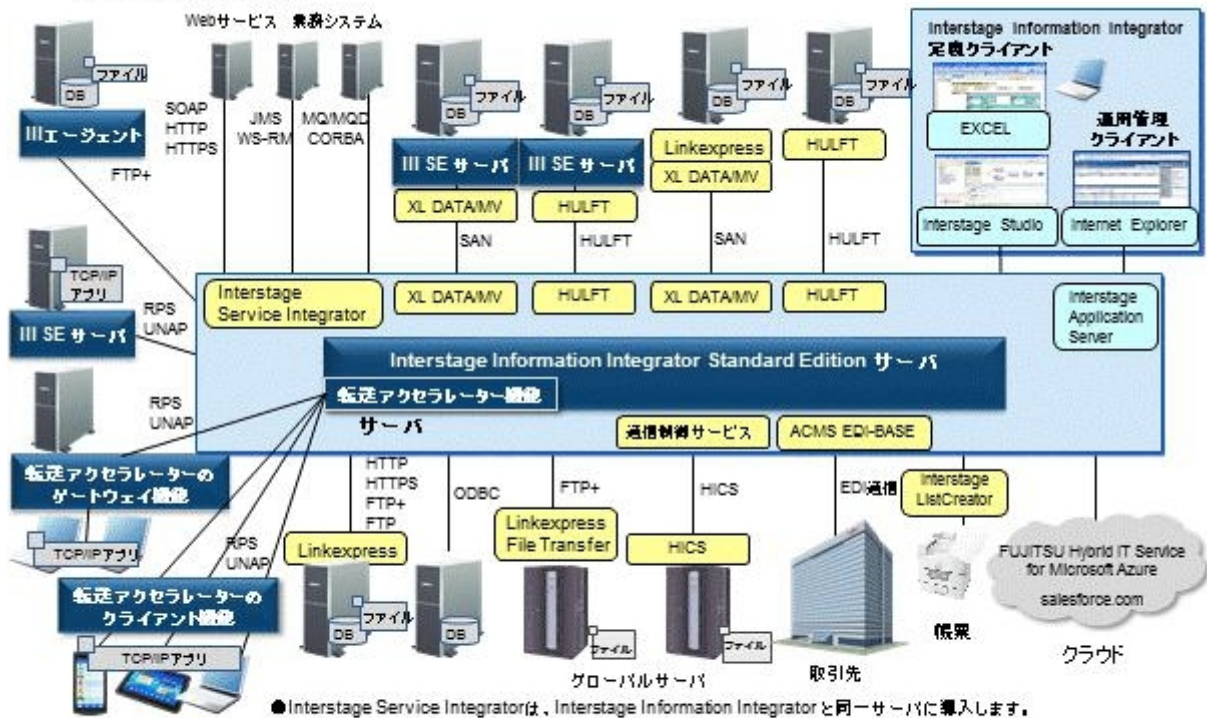
Interstage Information Integratorの機能と商品の対応は以下の通りです。

機能と商品の対応

項目		製品	Interstage Information Integrator Standard Edition	Interstage Information Integratorエージェント
収集/配付	ファイル転送		○	○(FTP+のみ)
	DB連携		○	○(ローカルのみ)
	Excelファイル連携		○	○
	クラウド連携		○	-
	帳票連携		○	-
	Interstage Information Storage連携		○	-
	業務パッケージ連携(SAP)		○	-
	EDIアダプタ連携 (ACMS EDI-BASE)		○	-
	エンタプライズ・サービスバス連携		○	-
	高速ファイル転送		○	-
転送アクセラレーター			○	-
変換			○	○
統合・管理	定義クライアント	定義作成/管理 GUI(III Studio)	○	-
		デザインシート	○	-
	運用管理	業務実行操作	○	-
		運用状況監視	○	-
データ管理			○	○
エージェント管理			○	-
スケジュール機能			○	-

○:サポート、-:サポート対象外

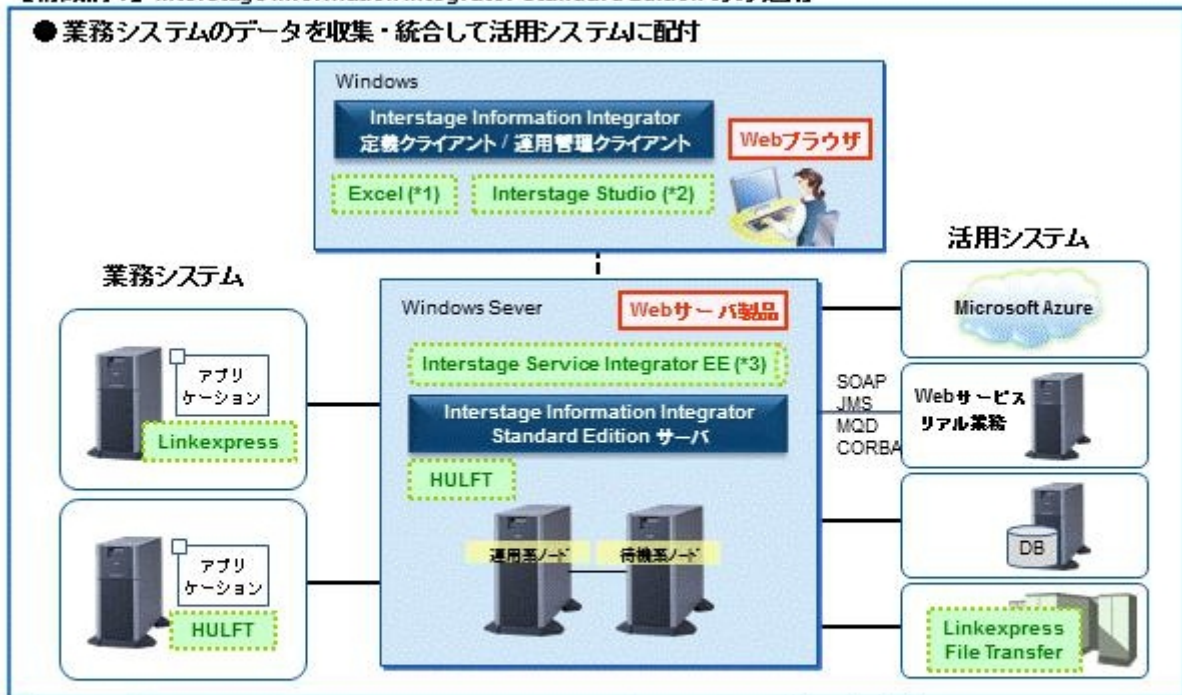
【システム構成全体像】



Interstage Information Integrator Standard Edition サーバ、Interstage Information Integratorエージェント、転送アクセラレーターのゲートウェイ機能および転送アクセラレーターのクライアント機能を組み合わせたシステムの構成例を以下に示します。

【構成例1】 Interstage Information Integrator Standard Edition のみ適用

● 業務システムのデータを収集・統合して活用システムに配信

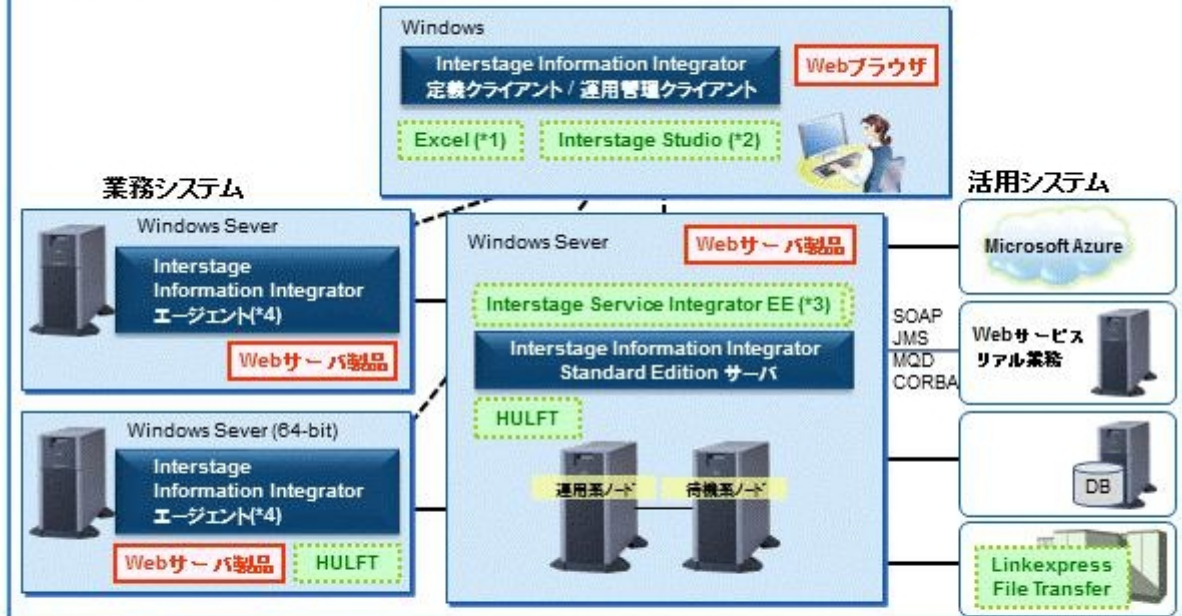


- 当製品
 - 必須製品
 - 関連製品
- *1: デザインシートを使用する際に必要
 *2: 定義作成管理GUI(III Studio)を使用する際に必要
 *3: サービスパスによるメッセージ連携運用をする際に必要

● Interstage Information Integrator定義クライアントは、Interstage Information Integratorサーバと同一のサーバへの導入が可能です。
 ● 1台のInterstage Information Integrator定義クライアントに対し、複数台のInterstage Information Integratorサーバを接続して使用することが可能です。
 また、1台のInterstage Information Integratorサーバに対し、複数台のInterstage Information Integrator定義クライアントを接続して使用することも可能です。
 ただし、いずれの場合も同時に複数台接続することはできません。

【構成例2】 Interstage Information Integrator Standard Editionとファイル転送エージェントを適用

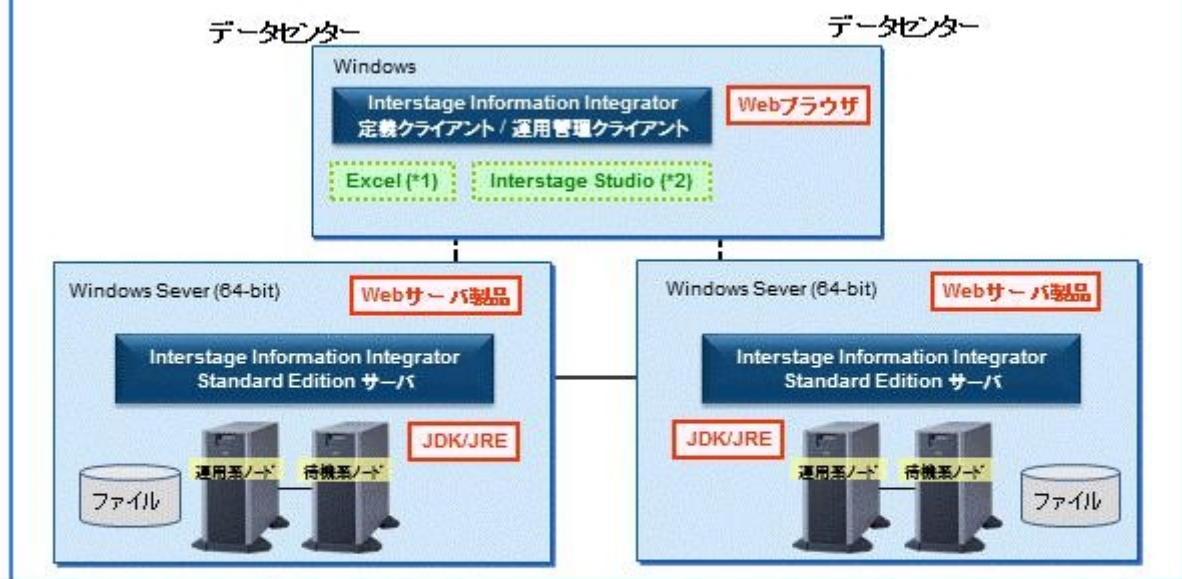
● 業務システムのデータを収集・統合して活用システムに配信、連携先システムの一元管理



- *1: デザインシートを使用する際に必要
 - *2: 定義作成管理GUI(III Studio)を使用する際に必要
 - *3: サービスバスによるメッセージ連携運用をする際に必要
 - *4: HULFTやLinkexpressをベースとした手順を製品に置き換え、連携先業務システムの集配処理の開発を効率化する場合 または Ⅲによる統管理システムとして運用する場合に必要
- Interstage Information Integratorエージェントは、Interstage Information Integratorサーバと同一のサーバへの導入はできません。
 - 1台のファイル転送エージェントに対し、複数台のInterstage Information Integratorサーバを接続して使用することが可能です。
 - また、1台のInterstage Information Integratorサーバに対し、複数台のInterstage Information Integratorエージェントを接続して使用することも可能です。

【構成例3】 Interstage Information Integrator Standard Editionをデータセンターサーバに適用

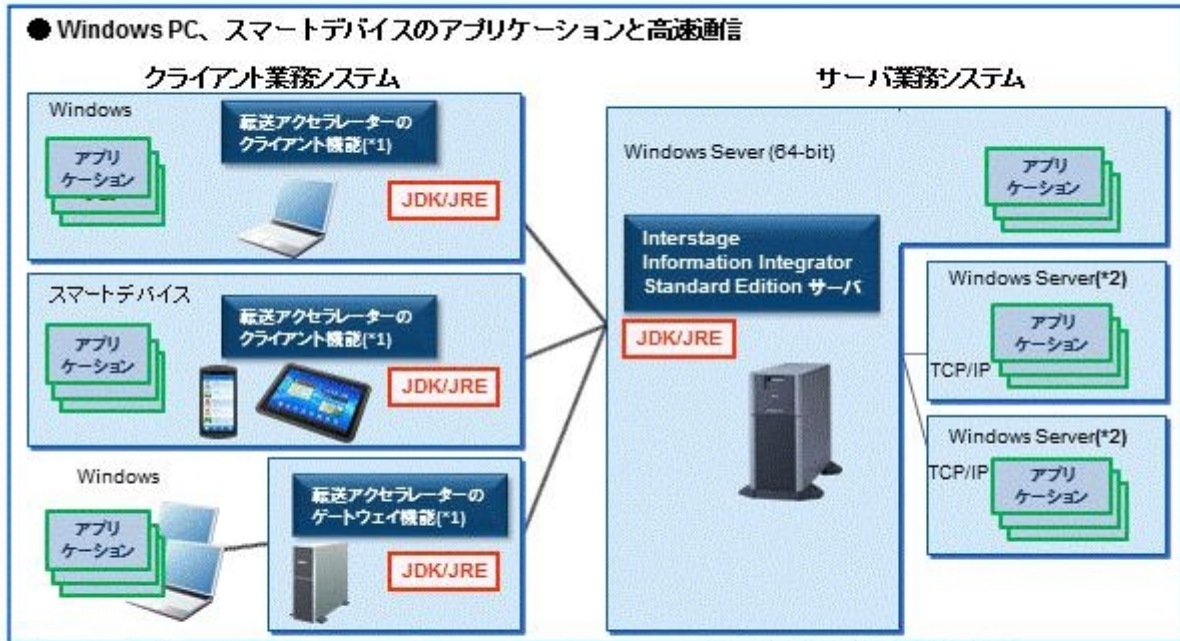
● データセンター間的高速ファイル転送



- *1: デザインシートを使用する際に必要
 - *2: 定義作成管理GUI(III Studio)を使用する際に必要
- Interstage Information Integrator定義クライアントは、Interstage Information Integratorサーバと同一のサーバへの導入が可能です。
 - 1台のInterstage Information Integrator定義クライアントに対し、複数台のInterstage Information Integratorサーバを接続して使用することが可能です。
 - また、1台のInterstage Information Integratorサーバに対し、複数台のInterstage Information Integrator定義クライアントを接続して使用することも可能です。
 - ただし、いずれの場合も同時に複数台接続することはできません。
 - JDK/JREはInterstage Application Serverに含まれるソフトウェアを使用してください。

**【構成例4】 Interstage Information Integrator Standard Editionと
転送アクセラレーターのクライアント機能およびゲートウェイ機能を適用**

● Windows PC、スマートデバイスのアプリケーションと高速通信



当製品
必須製品
アプリケーション

*1: アプリケーション間の高速通信を行う場合に導入が必要
*2: サーバアプリケーションが稼働するサーバを Interstage Information Integrator Standard Edition 導入サーバと接続して利用することもできます。

- Interstage Information Integrator Standard Editionに含まれる転送アクセラレーターのクライアント機能およびゲートウェイ機能を利用するには、Interstage Information Integrator Standard Editionに接続し、高速なデータ転送を行うクライアントアプリケーションが動作する機器(Windows PCやスマートデバイス)の台数分、Interstage Information Integratorクライアントライセンスが必要です。
- JDK/JREはInterstage Application Serverに含まれるソフトウェアを使用してください。

V11.3.2からV11.3.3の機能強化項目は、以下のとおりです。

1. 関連製品の対応

以下の関連製品の新しいバージョン・レベルに対応します。

- Enterprise Postgres Advanced Edition 12/12SP1/13/13SP1
- Enterprise Postgres Standard Edition 12/12SP1/13/13SP1
- Symfoware Server Enterprise Edition V12.6.0
- Symfoware Server Standard Edition V12.6.0
- Symfoware Server Enterprise Extended Edition V12.6.0
- Oracle Database Enterprise Edition 19c
- Oracle Database Standard Edition2 19c

・ オンラインマニュアル

- ・ Interstage Information Integrator システム設計ガイド
- ・ Interstage Information Integrator セットアップガイド
- ・ Interstage Information Integrator 運用ガイド
- ・ Interstage Information Integrator コマンドリファレンス
- ・ Interstage Information Integrator メッセージ集
- ・ Interstage Information Integrator 転送アクセラレーターセットアップガイド
- ・ Interstage Information Integrator マニュアル体系と読み方
- ・ Interstage Information Integrator リリース情報
- ・ Interstage Information Integrator 用語集
- ・ Interstage Information Integrator ESB連携機能導入運用ガイド

【メディア】

- ・ Interstage Information Integrator Standard Edition メディアパック (64bit) V11a (V11.3.3) (注1) (注2) (注3)
- ・ Interstage Information Integrator エージェント メディアパック (64bit) V11a (V11.3.3) (注1) (注3)

【永続ライセンス】

- ・ Interstage Information Integrator Standard Edition プロセッサライセンス (1年間24時間サポート付) V11a
- ・ Interstage Information Integrator エージェント プロセッサライセンス (1年間24時間サポート付) V11a
- ・ Interstage Information Integrator 1クライアントライセンス (1年間24時間サポート付) V11a
- ・ Interstage Information Integrator 20クライアントライセンス (1年間24時間サポート付) V11a

本商品のライセンス製品には、初年度の「SupportDesk Standard」がバンドルされています。

【サブスクリプションライセンス/サポート】

- ・ Interstage Information Integrator Standard Edition for Windows (SL&S)
- ・ Interstage Information Integrator エージェント プロセッサライセンス for Windows (SL&S)
- ・ Interstage Information Integrator 1クライアントライセンス (SL&S)
- ・ Interstage Information Integrator 20クライアントライセンス (SL&S)

注1) 64bit版メディアパックのみです。32bit版は「Interstage Information Integrator Standard Edition メディアパック V11.1.0」ならびに「Interstage Information Integrator エージェント メディアパック V11.0.2」を手配してください。

注2) 本メディアは以下のコンポーネントを含みます。

- Interstage Information Integrator 定義クライアント
- Interstage Information Integrator 転送アクセラレーター機能
- Interstage Information Integrator 転送アクセラレーターのゲートウェイ機能
- Interstage Information Integrator 転送アクセラレーターのクライアント機能

注3) 本メディアは以下のコンポーネントを含みます。

- Interstage Information Integrator 運用管理クライアント

1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体（DVD）のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。

【永続ライセンス】

商品の導入にあたり、最低1本のメディアパックが必要です。バージョンアップ/レベルアップを目的に本メディアパックのみを手配することはできません。

【サブスクリプションライセンス/サポート】

初回購入時には、最低1本のメディアパックとサブスクリプションライセンス/サポートを同時にご購入ください。

本メディアパックの購入でバージョンアップ/レベルアップすることはできません。

バージョンアップ/レベルアップする場合は本メディアパックを購入せず、アップグレード権を行使してメディアを入手してください。

2. プロセッサライセンスについて

プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下のとおりに必要となるライセンスです。

シングルコアプロセッサの場合は、1プロセッサあたり1本の購入が必要です。

マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）」内、「ライセンスについて、くわしく知る」を参照ください。

3. クライアントライセンスについて

転送アクセラレーターのクライアント機能を利用するために必要となるライセンスです。

ただし、転送アクセラレーターのゲートウェイ機能はインストールフリーです。

Interstage Information Integrator Standard Editionに接続し、高速なデータ転送を行う機器（Windows PCやスマートデバイス）の台数分、Interstage Information Integrator クライアントライセンスが必要です。

本ライセンスは、Windows、Linux、Solaris共通ライセンスです。

4. エージェントのプロセッサライセンス購入に関する注意事項

Interstage Information Integrator エージェントのライセンスは、導入先の業務システムのプラットフォームに合わせた製品を購入してください。

5. 運用管理クライアント機能について

運用管理クライアント機能は、Interstage Information Integrator サーバに接続して、業務の実行操作や運用状況の監視を行うことができます。

台数に関係なくサーバに接続して使用できます。

6. 定義クライアント機能について

定義クライアント機能は、クライアント数に制限なくインストールできます。

7. クラスタシステムで運用する場合の購入方法

本商品でサポートするクラスタ構成は、1対1運用待機形態です。

2ノードを1システムと考えて、1システムに本商品を1本購入することで使用できます。

8. 購入例

以下のシステム構成の場合、購入対象商品と購入数は下記ようになります。

注1:コア係数とは、マルチコアプロセッサにおける、コアの総数に乗じる係数です

注2:小数点以下は切り上げ

【構成例1】 Interstage Information Integrator Standard Edition のみ使用する場合

Interstage Information Integrator Standard Edition サーバの導入サーバ(デュアルコア2CPU構成)クラスタ運用 :1台

Interstage Information Integrator 定義クライアント/運用管理クライアントの導入PC :1台

〔対象製品と購入数〕

- Interstage Information Integrator Standard Edition メディアパック(64bit) V11a (V11.3.3)
インストール作業に必要な枚数
- Interstage Information Integrator Standard Edition プロセッサライセンス (1年間24時間サポート付) V11a
(1)1台毎のコア総数×マルチコア係数
 $2\text{CPU} \times 2\text{コア} \times \text{コア係数(注1)}$ (待機系のライセンスは不要)
(2)必要ライセンス数
(1)で算出した値(注2)×サーバ台数(1台)

【構成例2】 Interstage Information Integrator Standard Edition と Interstage Information Integrator エージェントを使用する場合

Interstage Information Integrator Standard Edition サーバの導入サーバ(デュアルコア4CPU構成) :1台

Interstage Information Integrator 定義クライアント/運用管理クライアントの導入PC :1台

業務システムのサーバ(デュアルコア1CPU構成) : 2台

〔対象製品と購入数〕

- Interstage Information Integrator Standard Edition メディアパック(64bit) V11a (V11.3.3)
インストール作業に必要な枚数
- Interstage Information Integrator エージェント メディアパック(64bit) V11a (V11.3.3)
インストール作業に必要な枚数
- Interstage Information Integrator Standard Edition プロセッサライセンス (1年間24時間サポート付) V11a
(1)1台毎のコア総数×マルチコア係数
 $4\text{CPU} \times 2\text{コア} \times \text{コア係数(注1)}$ (待機系のライセンスは不要)
(2)必要ライセンス数
(1)で算出した値(注2)×サーバ台数(1台)
- Interstage Information Integrator エージェント プロセッサライセンス (1年間24時間サポート付) V11a
(1)1台毎のコア総数×マルチコア係数
 $1\text{CPU} \times 2\text{コア} \times \text{コア係数(注1)}$
(2)必要ライセンス数

(1)で算出した値(注2) × サーバ台数(2台)

【構成例3】 Interstage Information Integrator Standard Edition を複数台のサーバで使用する場合
Interstage Information Integrator Standard Edition サーバの導入サーバ(デュアルコア4CPU構成)クラ
スタ運用:2台

Interstage Information Integrator 定義クライアント/運用管理クライアントの導入PC :1台

〔対象製品と購入数〕

- ・ Interstage Information Integrator Standard Edition メディアパック(64bit) V11a (V11.3.3)
インストール作業に必要な枚数
- ・ Interstage Information Integrator Standard Edition プロセッサライセンス (1年間24時間サポート
付) V11a

(1)1台毎のコア総数 × マルチコア係数

4CPU × 2コア × コア係数(注1)(待機系のライセンスは不要)

(2)必要ライセンス数

(1)で算出した値(注2) × サーバ台数(2台)

【構成例4】 Interstage Information Integrator Standard Editionと転送アクセラレーターのクライアント
ト機能およびゲートウェイ機能を使用する場合

Interstage Information Integrator Standard Edition サーバの導入サーバ(デュアルコア4CPU構成) :1台

転送アクセラレーターのクライアント機能を導入した端末、スマートデバイス :16台

転送アクセラレーターのゲートウェイ機能を導入したサーバ :1台 (ゲートウェイ機能のライセンスは不要)

転送アクセラレーターのゲートウェイ機能に接続する端末 :5台

〔対象製品と購入数〕

- ・ Interstage Information Integrator Standard Edition メディアパック(64bit) V11a (V11.3.3)
インストール作業に必要な枚数
- ・ Interstage Information Integrator Standard Edition プロセッサライセンス (1年間24時間サポート
付) V11a

(1)1台毎のコア総数 × マルチコア係数

4CPU × 2コア × コア係数(注1)

(2)必要ライセンス数

(1)で算出した値(注2) × サーバ台数(1台)

- ・ Interstage Information Integrator 20クライアントライセンス (1年間24時間サポート付) V11a × 1 +
Interstage Information Integrator 1クライアントライセンス (1年間24時間サポート付) V11a × 1

9. V10以降からのバージョンアップ/レベルアップについて

V10以降の本商品をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新バージョン/レベルを提供します。また、32ビット商品と64ビット商品間での切り替えも可能です。(お客様からのご要求が必要です。)

「SupportDesk」を導入されていない場合は、新バージョン/レベル商品を改めてご購入頂く必要があります(価格の優遇はございません)のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SEにお問合せください。

10. ダウングレード使用(旧バージョン または 旧レベル商品の使用)について

本商品のライセンスでは、ダウングレード使用（本商品の旧バージョン または 旧レベルを使用）する権利はありません。

対象のバージョン または レベルを使用する場合は、対象のバージョン または レベルに対応したライセンスをご購入ください。

11. ダウングレード について

本ソフトウェアガイドにダウングレード使用についての記載がある場合、サブスクリプションライセンス& サポート製品には適用されないものとします。

12. 購入時の特約事項

サブスクリプションライセンス/サポートの契約におけるライセンス使用条件の特約事項について記載しません。

[Interstage Information Integrator Standard Edition for Windows (SL&S)に適用されるライセンス使用条件]

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第（1）号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の「付録3．ライセンス数」のライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

(2) Symfoware® Serverの使用について

お客様は、対象プログラムに含まれるSymfoware® Serverをサブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書の定めに従って使用する目的でのみ、使用できます。それ以外の目的では使用できません。

(3) 転送アクセラレーターのクライアント機能の使用について

対象プログラムに含まれる機能の一部である転送アクセラレーターのクライアント機能については、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第（2）号にかかわらず、サーバ（ネットワークで接続されたクライアント・サーバシステムのうち対象プログラムをインストールしたサーバシステム）に接続するクライアント業務アプリケーションが動作するクライアントの台数分、別途Interstage Information Integrator クライアントライセンスを購入する必要があります。

[Interstage Information Integrator エージェント プロセッサライセンス for Windows (SL&S)に適用されるライセンス使用条件]

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第（1）号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の「付録3．ライセンス数」のライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

(2) 同梱する機能の使用について

お客様は、対象プログラムに含まれるSymfoware® Serverを本許諾書の定めに従って使用する目的でのみ使用できます。

それ以外の目的では使用できません。

[Interstage Information Integrator 1クライアントライセンス (SL&S) / 20クライアントライセンス (SL&S)に適用されるライセンス使用条件]

適用なし。

1. 運用管理クライアント機能を使用する場合

[Interstage Information Integrator Standard Editionを導入するサーバ]

運用管理クライアント（CGI版）を使用するにあたり、以下のいずれかのWebサーバが必要です。

- Interstage Application Server Enterprise Edition V13/V12/V11
- Interstage Application Server Standard-J Edition V12/V11
- Microsoft Internet Information Services 10.0/8.5/8.0/7.0
- Oracle WebLogic Server 10
- WebSphere Application Server V7

運用管理クライアント（サーブレット版）を使用する場合は、以下のいずれかのWebサーバが必要です。

- Interstage Application Server Enterprise Edition V13/V12/V11
- Interstage Application Server Standard-J Edition V12/V11

[運用管理を行うPC]

運用管理クライアントを使用するにあたり、以下のいずれかのWebブラウザが必要です。

- Microsoft Windows Internet Explorer(注1) 11/10/9
- Firefox (注2)
- Safari (注2)
- Google Chrome (注2)

注1) Internet Explorer 11ならびに10については、デスクトップ用Internet Explorerでの利用が可能です。

注2) Firefox、Safari およびGoogle Chrome の対応バージョンは「関連URL」に記載の「FUJITSU Software (Interstage Information Integrator)」を参照ください。

2. 定義クライアント機能を使用する場合

定義クライアントを使用するにあたり、以下のいずれかの商品が必要です。

[デザインシート]

- Microsoft Excel 2019/2016/2013/2010

注) 32bit版のみサポート

[定義作成/管理GUI(III Studio)]

- Interstage Studio Standard-J Edition V12/V11

3. ファイル転送機能を使用する場合

ファイル転送機能を使用する場合は、以下のいずれかの商品が必要です。

【FTP+連携時】

Interstage Information Integrator エージェント、または以下のいずれかの商品が必要です。

[相手システム]

- Linkexpress Enterprise Edition V5.0a
- Linkexpress Standard Edition V5.0a
- Linkexpress File Transfer V10L10 (グローバルサーバ)

【HTTP/HTTPS連携時】

以下商品が必要です。

[相手システム]

- ・ Linkexpress Enterprise Edition V5.0a

【SAN連携時】

[自システム]

自システムに以下の商品が必要です。

- ・ ETERNUS SF XL-DATA/MV V13.1/13.2

[相手システム]

相手システムに応じて以下の商品が必要です。

- ・ PC/UNIXサーバの場合
以下の商品が必要です。
 - ETERNUS SF XL-DATA/MV V13.1/13.2
 - Linkexpress Enterprise Edition V5.0a
- ・ グローバルサーバの場合
 - XL-DATA/MV V13
 - Linkexpress File Transfer V10L10
 - Linkexpress SAN option V10L10

【HULFT連携時】

自システムおよび相手システムに以下の商品が必要です。

- ・ HULFT 8/7/6 (株式会社セゾン情報システムズ)

【EDI接続時】

EDI接続を行う場合は、以下の商品が必要です。

- ・ ACMS EDI-BASE V4L4.7.0/V4L4.3.0

4. 高速ファイル転送を行う場合

高速ファイル転送を使用するにあたり、以下のいずれかの商品が必要です。

- ・ Interstage Application Server Enterprise Edition V13/V12/V11
- ・ Interstage Application Server Standard-J Edition V12/V11

5. 転送アクセラレーター機能を使用する場合

転送アクセラレーター機能、転送アクセラレーターのゲートウェイ機能または、転送アクセラレーターのクライアント機能を使用するにあたり、以下のいずれかの商品が必要です。

- ・ Interstage Application Server Enterprise Edition V13/V12/V11
- ・ Interstage Application Server Standard-J Edition V12/V11

6. DB連携機能を使用する場合

データベースは以下の商品が利用可能です。

- ・ Symfoware Server Standard Edition V12/V11
- ・ Symfoware Server Enterprise Edition V12/V11
- ・ Enterprise Postgres Advanced Edition 12/12SP1/13/13SP1(注1)
- ・ Enterprise Postgres Standard Edition 12/12SP1/13/13SP1(注1)
- ・ Oracle Database Enterprise Edition 19c(注1)
- ・ Oracle Database Standard Edition2 19c(注1)
- ・ Oracle Database 12c Standard Edition R12.2.0/R12.1.0(注1)(注2)
- ・ Oracle Database 12c Enterprise Edition R12.2.0/R12.1.0(注1)(注2)
- ・ Oracle Database 12c Standard Edition 2 R12.2.0/R12.1.0(注1)(注2)
- ・ Oracle Database 11g Standard Edition R11.2.0/R11.1.0(注1)

- Oracle Database 11g Enterprise Edition R11.2.0/R11.1.0(注1)
- Oracle Database 11g Standard Edition One R11.2.0/R11.1.0(注1)
- IBM DB2 9.7 for Linux, UNIX and Windows, Express Edition(注1)
- IBM DB2 9.7 for Linux, UNIX and Windows, Workgroup Server Edition(注1)
- IBM DB2 9.7 for Linux, UNIX and Windows, Enterprise Server Edition(注1)
- Microsoft SQL Server 2017 Standard(注1)
- Microsoft SQL Server 2017 Enterprise(注1)
- Microsoft SQL Server 2016 Standard(注1)
- Microsoft SQL Server 2016 Enterprise(注1)
- Microsoft SQL Server 2014 Standard(注1)
- Microsoft SQL Server 2014 Enterprise(注1)
- Microsoft SQL Server 2012 Standard(注1)
- Microsoft SQL Server 2012 Enterprise(注1)
- Microsoft SQL Server 2008 R2 Standard(注1)
- Microsoft SQL Server 2008 R2 Enterprise(注1)
- Microsoft SQL Server 2008 R2 Datacenter(注1)
- Microsoft SQL Server 2008 Standard(注1)
- Microsoft SQL Server 2008 Enterprise(注1)
- Microsoft SQL Server 2005 Standard(注1)
- Microsoft SQL Server 2005 Enterprise(注1)
- SQL Azure
- PostgreSQL 8.1.11以降(注1)

注1)各データベース製品のクライアントコンポーネントをインストールすることで、リモートのデータベースが利用可能です

注2)Oracle Databaseのクライアントは、"Oracle Database 11g Release 2 Client for Microsoft Windows (x64)"を利用してください。

7. クラスタ運用を行う場合

クラスタ運用を行う場合は、以下の商品が必要です。

本商品でサポートする待機形態は、1対1運用待機です。

- フェールオーバー クラスタリング

8. 帳票連携を行う場合

帳票連携を使用するにあたり、以下のいずれかの商品が必要です。

- Interstage List Creator Enterprise Edition V10
- Interstage List Creator Standard Edition V10
- Interstage List Creator Connector V10 (注)

注) リモート帳票出力を行う場合に必要です。

帳票定義の取り込みを行う場合は、以下のいずれかの版数の商品が必要です。

- Interstage List Creator デザイナ V10

9. サービスバス連携を使用する場合

サービスバスとの連携を行うにあたり、以下商品が利用可能です。

- ・ Interstage Service Integrator Enterprise Edition V9.6.0
-

10. クラウド連携を使用する場合

クラウド連携を使用するにあたり、以下のいずれかの商品が必要です。

- ・ Interstage Application Server Enterprise Edition V13/V12/V11
 - ・ Interstage Application Server Standard-J Edition V12/V11
-

11. Excel連携を行う場合

Excel連携を使用するにあたり、以下のいずれかの商品が必要です。

- ・ Microsoft Excel 2013/2010

注) 32bit版のみサポート

12. データ変換・編集を行う場合

以下に示すデータ変換・編集を行う場合、以下のいずれかの商品が必要です。

- 伝票形式のデータ変換
- XML形式のデータ変換
- 可変繰返し項目を含むデータ変換

- ・ Interstage Application Server Enterprise Edition V13/V12/V11
 - ・ Interstage Application Server Standard-J Edition V12/V11
-

13. BLOB収集・配付を行う場合

BLOB収集・配付を行う場合、以下のいずれかの商品が必要です。

- ・ Interstage Application Server Enterprise Edition V13/V12/V11
- ・ Interstage Application Server Standard-J Edition V12/V11

なし

1. Windows サーバOS(64-bit)上での動作

本商品の定義クライアント機能、運用管理クライアント機能および転送アクセラレータークライアント機能は、以下のOSのWOW64(注1)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

本商品のInterstage Information Integrator Standard Edition サーバ、Interstage Information Integrator エージェント、転送アクセラレーター機能および転送アクセラレーターのゲートウェイ機能は、以下のOS上で、64ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows Server 2016(64-bit)
- Windows Server 2019(64-bit)

注1)Windows 32-bit On Windows 64-bit

2. Intel64環境での動作について

本商品の転送アクセラレーターのゲートウェイ機能は、以下のディストリビューションの環境で、32ビット互換モードで動作します。

- Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)

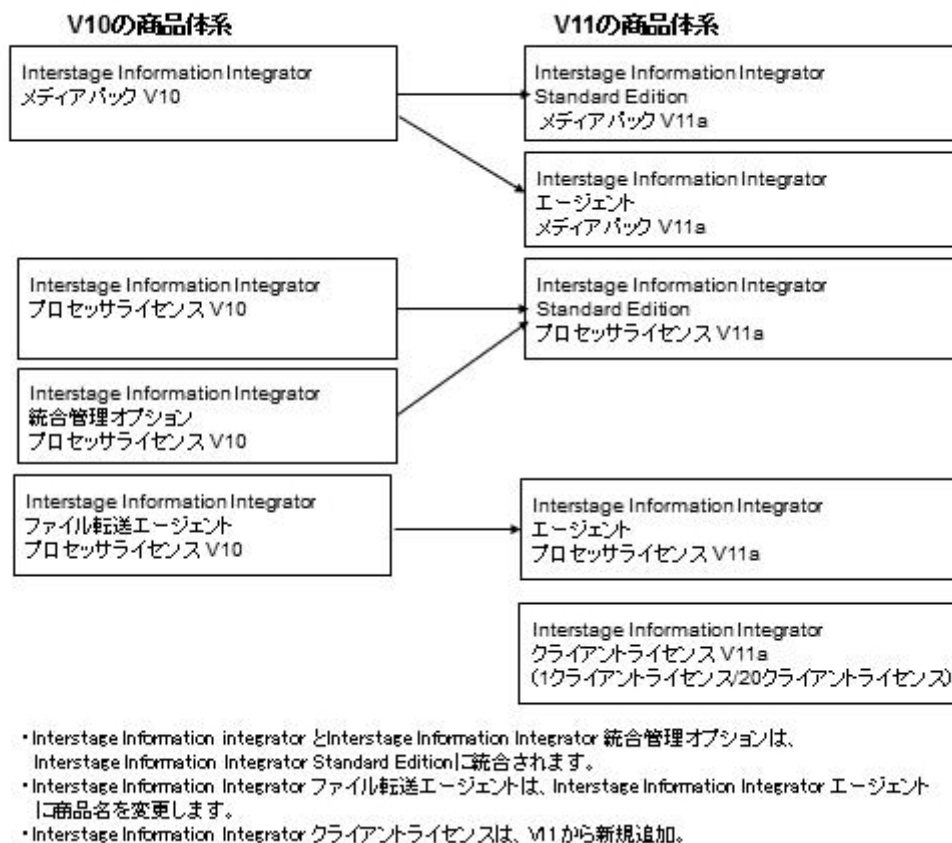
3. Windows デスクトップOS(64-bit)での動作

本商品の定義クライアント機能、運用管理クライアント機能および転送アクセラレータークライアント機能は、以下のOSのWOW64(注1)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows 10(64-bit)
- Windows 8.1(64-bit)

注1)Windows 32-bit On Windows 64-bit

4. V10からの商品体系



5. Symfoware Server組込みに関する留意事項

本商品には、以下のSymfoware Serverが組み込まれています。

Interstage Information Integratorと連携する場合は、以下を使用してください。

- ・Symfoware Server Enterprise Edition V12.6.0 (Native)

本商品に組み込まれているSymfoware Serverは、本商品の内部制御用に使用します。業務用のデータベースを作成する場合は、製品版のSymfoware Serverを使用してください。

また、同一マシン上にSymfoware Server と Symfoware 組込み製品をインストールする場合、または同一マシン上にSymfoware組込み製品同士をインストールする場合、共存できない場合があります。詳細については、弊社営業/SEにお問合せください。

6. IPv6対応の注意点

IPv6/IPv4デュアルスタック環境での運用のみをサポートします。

7. 転送アクセラレーター機能および転送アクセラレータークライアント機能の接続先における注意点

Interstage Information Integrator Standard Edition V11.0.2までは、転送アクセラレーターを適用するためには、高速化対象アプリケーションの通信相手として本商品を設定する必要がありましたが、V11.1.0以降ではその設定変更は不要となります。

8. スマートデバイスを利用した運用について

本商品の転送アクセラレーターのクライアント機能は、スマートデバイスでのアプリケーションを利用した運用に対応しています。

詳細は、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（スマートデバイスにおける動作条件）」を参照してください。

なお、スマートデバイスを利用した運用についての留意事項を以下に記述します。

(1) 内蔵メモリ、データフォルダ容量について

内蔵メモリ容量 : 1GB以上推奨

データフォルダ容量 : 30MB以上

(2) スマートデバイスへの導入

以下のいずれかの方法により、スマートデバイスにInterstage Information Integrator Standard Editionメディアパック内の転送アクセラレーターのクライアント機能を導入する必要があります。

- 転送アクセラレーターのクライアント機能を電子メールで各スマートデバイスへ配付してインストール
- 転送アクセラレーターのクライアント機能をお客様の管理部門にてWebサーバで公開し、スマートデバイスへダウンロードしてインストール

(3) 必須ソフトウェア

通信先の業務サーバに以下の製品を導入する必要があります。

- Interstage Information Integrator Standard Edition V11a

9. 排他ソフトウェア

Interstage Service Integratorは、本商品と動作モードが異なる場合、排他ソフトウェアです。

Interstage Service Integratorと組み合わせる場合は、動作モードが同じものを選択してください。

10. 転送アクセラレーターのゲートウェイ機能の適応機種/適応OSについて

本資料冒頭の適応機種 / 適応OSの他に以下にも適応します。

【適応機種】

SPARC Enterprise

PRIMEPOWER

FUJITSU Cloud Service for SPARC

【適応OS】

Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)

Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)

Oracle Solaris 11 (日本語環境のみ)

11. インストールについて

本商品はDVDで提供されます。

インストールにはDVDドライブユニットが必要です。

DVDドライブユニットが搭載されていないマシンの場合は、別途、手配が必要です。

なお、DVDドライブユニットが搭載できない場合は、DVDドライブユニットが搭載されているサーバ（PRIMEQUEST、PRIMERGYまたはFMV等）のDVDドライブをネットワークドライブとして割り当て後、ネットワーク経由でインストールしてください。

12. 仮想環境で運用される場合の留意事項

Hyper-V、VMWareおよびLinux仮想マシン機能で運用される場合の留意事項を説明します。

(1)Hyper-V

- ・ 運用中のライブマイグレーションは、プロセスが動作していない場合のみ可能です。

- ・運用中のクイックマイグレーションは、プロセスが動作していない場合のみ可能です。
- ・Interstage Information Integrator各定義登録前のインポート/エクスポートは可能です。登録後はエクスポート先の環境に合わせた定義変更が必要です。
- ・Hyper-V レプリカによる切り替え時は、最終複製作成時点と災害発生時点の間に変更した定義、および本製品で処理したデータは失われます。
- ・HICSプロトコルは、サポート対象外です。

(2)VMWare

- ・VMware vSphere vMotionによるオンラインマイグレーションは、プロセスが動作していない場合のみ可能です。
- ・HA動作時は、ファイル転送やDB格納等が実行中に切替えが発生した場合は、切替え後に再実行する必要があります。
- ・Interstage Information Integrator各定義登録前のクローニングは可能です。登録後はクローニング先の環境に合わせた定義変更が必要です。
- ・DR動作による切り替え時は、最終複製作成時点と災害発生時点の間に変更したInterstage Information Integratorの定義、ファイル転送やDB格納等で処理したデータは失われます。
- ・HICSプロトコルは、サポート対象外です。

(3)Linux仮想マシン機能

- ・運用中のライブマイグレーションは、プロセスが動作していない場合のみ可能です。
- ・Interstage Information Integrator各定義登録前のクローニングは可能です。登録後はクローニング先の環境に合わせた定義変更が必要です。

13. インストールでの注意事項

以下の環境では、Server Coreインストールでの運用はサポートされていません。

- ・Windows Server 2019(64-bit)
- ・Windows Server 2016(64-bit)

以下の環境では、Nano Serverでの運用はサポートされていません。

- ・Windows Server 2019(64-bit)
- ・Windows Server 2016(64-bit)

14. Interstage Information Integrator エージェントの統合管理を行う場合の留意事項

Interstage Information Integrator エージェントの統合管理を行う場合、Interstage Information Integrator エージェントとInterstage Information Integrator Standard Editionは同一レベルにする必要があります。

15. 旧商品からの移行について

Interstage CollaborationRing Process Manager、Interstage CollaborationRing File Transfer Integrator、または、Interstage CollaborationRing Data Collection Serverから、Interstage Information Integratorへ移行については、弊社営業/SEにお問合せください。

お客様向けURL

- ・ **ソフトウェア：富士通（Interstage Information Integrator）**

本商品の詳細情報を掲載しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/middleware/business-middleware/interstage/products/infointegrator/>

- ・ **ソフトウェア：富士通（スマートデバイスにおける動作条件）**

スマートデバイスでの動作条件情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/software/smartdevice/>

- ・ **ソフトウェア：富士通（ソフトウェアの一覧表（システム構成図）と各種対応状況）**

価格/型名の一覧（システム構成図）を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration/>

- ・ **ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）**

「ライセンスについて、くわしく知る」の項で富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>